

6月1日から学校が再開しました。校舎内には手指消毒液の設置や2メートル間隔の表示もしてあります。3つの密を避ける、マスクの着用や手洗いを励行するなどの基本的な感染予防対策を継続する「新しい生活様式」を取り入れて、毎日の学校生活を過ごしていきましょう。

登校前に準備すること

- 引き続き、睡眠時間の確保やバランスのよい食事をとって、健康維持に努めてください。登校前に健康観察をしてください。次の症状があるときは、自宅で様子をみてください。

いずれか1つでも当てはまれば、学校に連絡し、登校せず自宅で休養してください

- かぜの症状（発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛等）がある
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- 味覚や嗅覚にいつもとは違う異常を感じる
- 新型コロナウイルス感染症の感染者の濃厚接触者に該当している



- 毎日、次の物を準備して登校してください。【ハンカチ、ティッシュ、マスク、ビニール袋】

登校後の健康管理



1 健康観察

- 「健康観察カード」を使用し、登校前の体温、体調等を確認します。その後体調が悪化した場合は、担任又は保健室に申し出て、検温してください。
- 発熱等の症状がみられた場合は、保護者に連絡し早退としますので自宅休養してください。

2 健康管理

- 保健だより6月（登校再開）号に掲載のコロナ対策「ミッション11」を実行してください。
- こまめな手洗いをしましょう。水と石けんで30秒の手洗いが基本です。
- 教室・部室等の換気をしましょう。常時2方向の換気をし、休憩時間は窓を全開に。
- マスクを外すときや、ティッシュ等を使用したときは持参したビニール袋に入れましょう。
- これからの季節は、熱中症予防も大切です。睡眠や食事をきちんととり、こまめな水分補給をしてください。水分補給の際のボトル・コップ等は自分専用のものを使ってください。

その他（お願い）

- 次のような場合は、保健所の相談窓口や医療機関に相談をしてください。（これらに該当しない場合の相談も可能です。）

- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合**
- 重症化しやすい方（高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）で、発熱や咳などの比較的軽いかぜの症状がある場合
- 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽いかぜ症状が（4日以上）続く場合**
（強い症状と思う場合、解熱剤を飲み続けなければならない方は、すぐに相談）

- 次の場合は、学校に連絡してください。

- ①生徒本人が、PCR検査を受けた場合
- ②生徒本人又は同居の御家族が
 - 新型コロナウイルス感染症に感染した場合
 - 感染者の濃厚接触者となった場合